

特金 指標高映し続伸基調

5月の特金スクラップ相場は続伸基調になっている。4月のLMEニッケル価格の平均値が前月比5.3%高となったほか、為替市場でも円安が進んだことでスクラップの採算値は上げ余地が拡大。これを映し国内ミル及び輸出大手とも全品種にわたり値上げし、市中業者の間にも同調上げが広がった。ただ、需要の濃淡を映し、その上げ幅は品種や需要家、地域間で異なった。

SUS316については高炉大手が前月比1^キあたり15円値上げとする一方で、他社や輸出市場ではそれらを大きく上回る上げ幅が散見。モリブデン価格の上昇や需要の改善を映した措置とみられ、需要家間で価格対応は開きが目立った。



参考指標のひとつ、モリブデンのLMEスポット価格は5月に入って1^キあたり30^{ドル}超えに上昇。主要な銅鉱山の生産減で供給不足が改めて意識されている。

また、SUS309は1^キあたり15~30円、SUS310は30~50円値上がり。こちらも安値修正の観点や需要の濃淡を映し、上げ幅の対応はバラついた。

	15日前場	前日比(%)	在庫量	前日比	前月平均
銅	13,553.50	-432.50	395,725	-1.325	12,891.38
鉛	1,995.00	-12.00	265,000	-250	1,922.65
亜鉛	3,527.00	-69.00	110,750	-125	3,361.55
アルミ	3,635.00	-133.00	344,000	-2,500	3,600.63
ニッケル	18,390.00	-525.00	275,778	0	18,005.75
錫	52,900.00	-2,900.00	8,035	-100	48,941.75
金(NY)	4,561.90	-123.40	-	-	4,744.44
原油(NY)	105.42	4.25	-	-	98.06
糖TTS(%)	159.99	0.43	-	-	160.33

※金は1troy ounceあたり※原油は1バレルあたりの26年6月限※為替は日本時間5月18日のTTS

銅建値 7万円反落 224万円 海外大幅安

最高値の水準にあった国内銅相場が急落する動きとなった。JX金属は18日、銅建値を前回(14日)比1^キあたり70円下げの2,240円に改定した。5月の月間推定平均は2,242.9円。海外銅市況が大幅続落したことで、国内建値に下げ余地が広がった。これに伴い黄銅削り粉建値は34円下げの1,557円に改定され、銅スクラップの市中価格は28~56円がた値下がりした。

建値改定により、銅スクラップの市中実勢価格(関西地区)は1号銅線が1,980~1,995円、下銅が1,850~1,865円、黄銅削り粉は1,380~1,395円見当に値下がりした。

現地15日のLME銅価格(セツルメント)は前日比432.5^{ドル}安の1万3553.5^{ドル}/ト^ンに大幅続落。ドル高や供給懸念の後退で投機筋の利益確定売りが広がった。

富士マテリアル、健康経営優良法人2026に初認定

(大阪)レアメタルやレアアースのリサイクル事業を展開している富士マテリアル(本社=大阪府大阪市、西尾一社長)は3月9日、経済産業省と日本健康会議が推進している「健康経営優良法人2026(中小規模法人部門)」に同社初の認定を受けた。

同制度は優良な健康経営を実践している企業などの法人を「見える化」し、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境整備を目的としたもの。

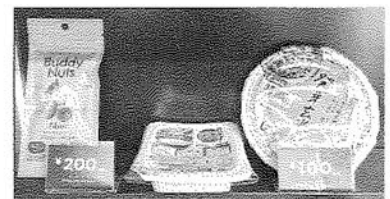
同社は前身企業である富士興産から引き継いだ取り組みをさらに進化させるため、2024年に全国健康保険協会大阪支部から「健康宣言」事業所に認定されており、これまでさまざまな取り組みを進めてきた。

その一環として、体調・健康管理をよりスムーズに行えるよう専用アプリを導入したほか、

スポーツジムの利用料の一部補助、人間ドックの受診料の全額負担などを実施している。また、社内イベントとして年に数回、ウォーキングラリーを開催。上位入賞者には景品を贈呈しており、運動習慣の意識向上に努めている。

さらに食事面にも力を入れ、管理栄養士が推奨する総菜やサラダなどをそろえた社内設置型社食サービスを導入。社員らが気軽に利用できるよう購入費用の半額を会社が負担し、食事面からも健康づくりをサポートしている。

今後について西尾社長は「健康経営の取り組みは、社員から寄せられた意見を吸い上げながら進めている。社員は会社にとって『人財』であるという考えのもと、これからも社員を中心に据えた健康維持・増進に取り組んでいきたい」と話す。



設置型社食サービス



健康経営優良法人 2026認定証